

「ISO15189 認定取得」

[\(https://www.jab.or.jp/system/service/medicallaboratories/accreditation/detail/723/\)](https://www.jab.or.jp/system/service/medicallaboratories/accreditation/detail/723/)

金沢医科大学病院の中央臨床検査部・病院病理部・血液センターは、2019年11月に国際標準化機構 ISO15189 認定を取得しました。

ISO 15189 とは臨床検査室に特化した国際規格であり、「品質マネジメントシステムの要求事項」と「技術能力に関する要求事項」の2つから構成されています。すなわち、臨床検査の技術能力の評価に加えて、臨床検査業務をマネジメントする仕組みについても評価するものです。私たちはこれら2つの要求事項を継続的に満たすことで、より信頼性の高い検査結果を迅速に提供し、大学病院の高度な医療に貢献したいと考えています。具体的には、検査業務の継続的な改善、優れた人材（臨床検査技師）の育成、顧客（臨床医や病院のスタッフ、ひいては患者さん）へのサービスなど、多く業務に ISO15189 を活かします。

このマネジメントシステムを日常の検査業務と更に一体化させるには、今後の PDCA による改善の繰り返しが重要となります。また、本認定は4年ごとの更新が必要です。その間に2回のサーベイランスと更新審査があり、各審査は厳しく高いハードルではありますが、各検査室のスタッフが一丸となって品質マネジメントシステムのブラッシュアップに努める所存です。

あらためまして、当院の臨床検査室は国際規格「ISO 15189(臨床検査室-品質と能力に関する特定要求事項)」によって認定され、これを発展・継続させることで更なる臨床貢献につなげたいと考えています。